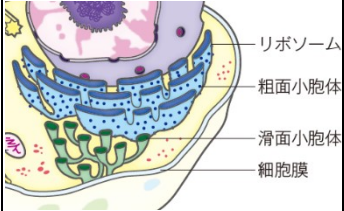
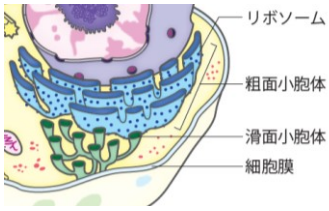
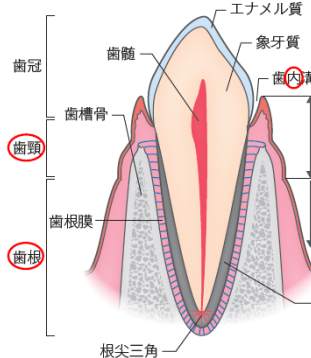
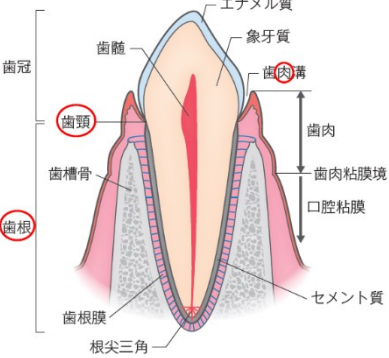




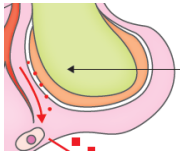
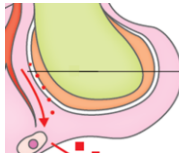
『愛玩動物看護師の教科書 第1巻』(1刷) 訂正とお詫び

ISBN978-4-89531-768-9

下記の箇所に誤りがございました。訂正するとともに深くお詫び申し上げます。

株式会社 緑書房

訂正箇所	誤	正
p.34 右段 2 国際的な基準 下から4行目	国際基準化機構	国際標準化機構
p.53 図2		 <ul style="list-style-type: none"> ・リボソーム (青い点) の示す位置を変更 ・粗面小胞体全体を指すように変更
p.92 図3		 <ul style="list-style-type: none"> ・歯内溝→歯肉溝へ変更 ・歯頸、歯根の部位の変更
p.95 右段8~9行目	乳歯が 312/313	乳歯が <u>313/312</u>
p.117 左段 1. 内分泌と… 下から5行目	内分泌腺から分泌される生理活性物質を総称してホルモンといっています。	内分泌腺など特定の組織から分泌され、 <u>微量で生理的機能を調節する生理活性物質</u> を総称してホルモンといっています。
p.117 表1 内分泌系 情報伝達経路	血管系	血管系 <u>など</u>

訂正箇所	誤	正
p.118 図 1a	<p>外分泌腺組織</p> 	<p>外分泌腺組織</p>  <p>・囲み内を削除</p>
p.120 左段 3. 内分泌と… 1 行目	<p>ホルモンの伝達経路は、血液による輸送、神経分泌、傍分泌の 3 種類があります (図 1b)。</p>	<p>ホルモンの伝達経路は、血液による輸送 (図 1b)、<u>神経分泌 (図 1b)</u>、傍分泌、<u>自己分泌</u>があります。</p>
p.121 図 3	 <p>下垂体前葉</p>	 <p>下垂体前葉</p> <p>・矢印の位置を変更</p>
p.164 POINT 下から 2 行目	<p>肋骨頭間靭帯 (図 8)</p>	<p>肋骨頭間靭帯 (図 6)</p>
p.170 図 11a 右	<p>中殿筋, 浅殿筋</p>	<p>中臀筋, 浅臀筋</p>
p.196 右段 1 脈絡膜 下から 2 行目	<p>なお、鳥類では脈絡膜にタペタムは存在しません。</p>	<p>なお、<u>一部の鳥類を除いて</u>、鳥類の脈絡膜にタペタムは存在しません。</p>
p.242 右段 (2)猫の偽妊娠 3 行目	<p>しかし、犬とは異なりプロラクチンは分泌されないため、</p>	<p>しかし、犬とは異なりプロラクチンの高濃度での分泌は起こらないため、</p>
p.254 左段 5 新生子に… 下から 7 行目	<p>多くの抗体 (免疫グロブリン [とくに IgG 抗体]) を含んでいます。</p>	<p>多くの抗体 (免疫グロブリン [とくに IgG と IgA]) を含んでいます。</p>

(1.6)